

愛知県地震概況

令和6年（2024年）11月

この資料は速報であり、後日の調査で修正することがあります。

○概況

1. 愛知県内で震度1以上を観測した地震の状況

11月に愛知県内で震度1以上を観測した地震が2回発生しました。

2. 愛知県内や愛知県周辺で発生した主な地震

①23日22時01分に愛知県西部でM3.6の地震（最大震度2 深さ40km）が発生しました。

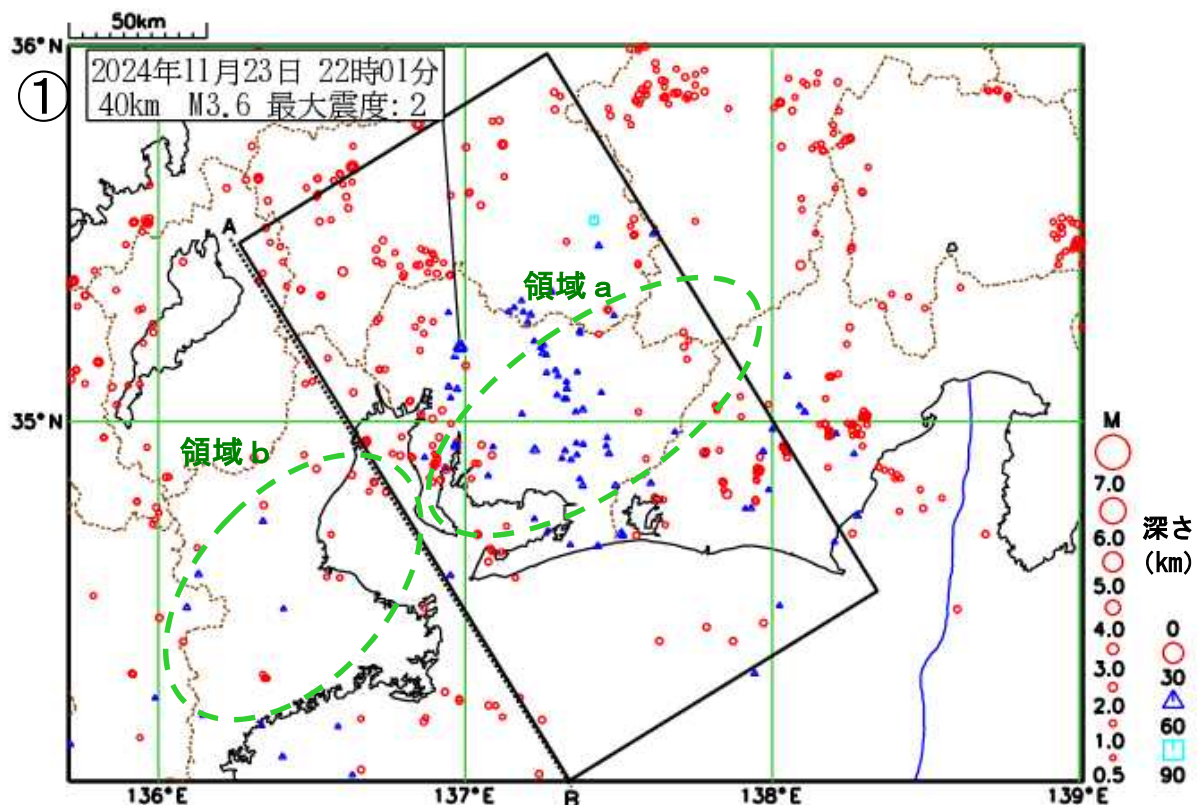
3. 深部低周波地震の活動状況

・東海（領域a）

25日

・紀伊半島北部（領域b）

17日～19日、21日～23日



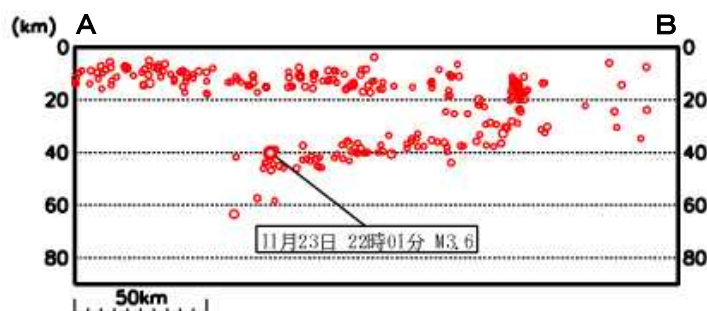
震央分布図（2024年11月1日～30日 深さ0～90km M≥0.5）



深部低周波地震（微動）

深部低周波地震の震央は震源決定精度が高くないため、地震が発生した領域を破線で表示しています。

（注）Mはマグニチュード（地震の規模）の略です。



左の断面図は、震央分布図中の斜めの四角形内の震源を、A－Bに沿って置いたスクリーンに投影する形でプロットしたものです。深さ 25km 程度までの浅い震源の分布域は、陸側プレートの地殻内の活動によるものです。

○県内で震度 1 以上を観測した地震

愛知県西部（1 頁目震央分布図①）

11 月 23 日 22 時 01 分に愛知県西部で発生した M3.6 の地震（深さ 40km）により、愛知県名古屋市港区・知多市で震度 2 を観測したほか、愛知県、長野県、岐阜県、三重県、滋賀県で震度 1 を観測しました。（図 1）この地震はフィリピン海プレートの内部で発生しました。

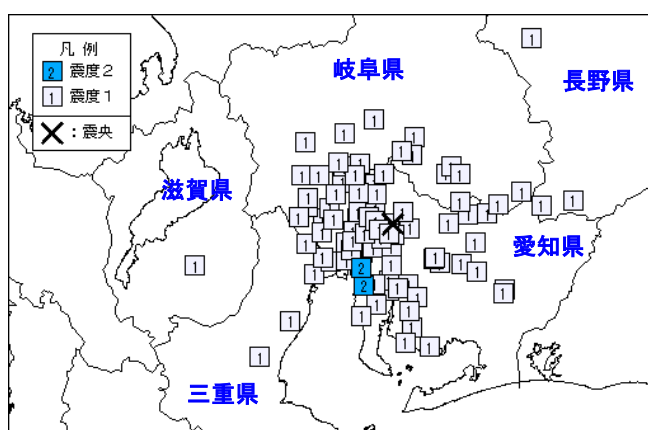


図 1 11 月 23 日 22 時 01 分 M3.6 震度分布図
（観測点別、×：震央）

石川県西方沖（1 頁目震央分布図領域外）

11 月 26 日 22 時 47 分に石川県西方沖で発生した M6.6 の地震（深さ 7 km）により、石川県輪島市・志賀町で震度 5 弱を観測したほか、東北・関東・東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国地方にかけて震度 4～1 を観測しました。（図 2）

この地震は地殻内で発生しました。

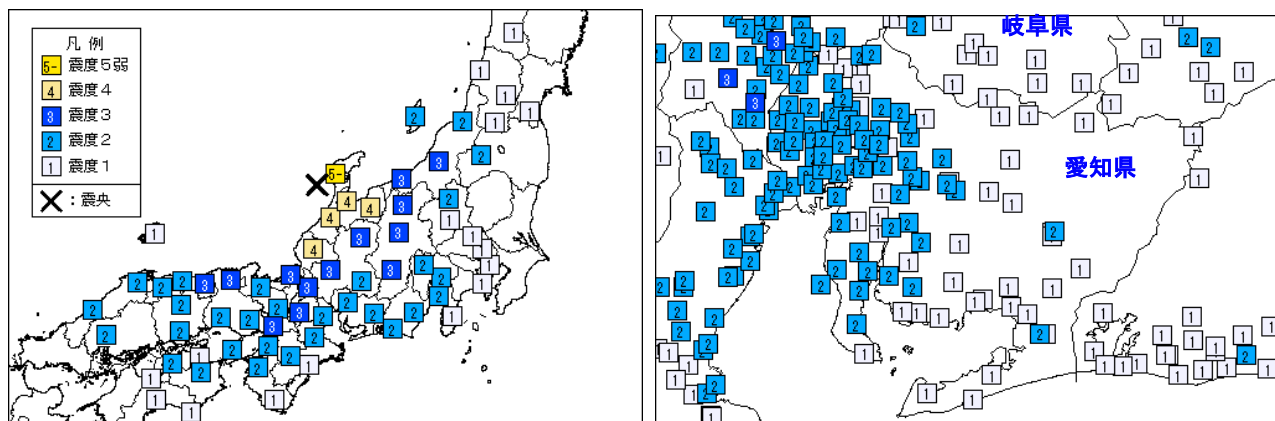


図 2 11 月 26 日 22 時 47 分 M6.6 震度分布図

（左図：地域別、右拡大図：観測点別、×：震央）

○震度 1 以上を観測した地震の表（愛知県）

震源時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度					
2024 年 11 月 23 日 22 時 01 分	愛知県西部	35° 11.8' N	136° 59.0' E	40km	M3.6
愛知県	震度 2：名古屋港区金城ふ頭＊，知多市緑町＊				
	震度 1：新城市作手清岳，新城市作手高里松風呂＊，名古屋千種区日和町，名古屋東区筒井＊，名古屋北区萩野通＊，名古屋西区八筋町＊，名古屋中村区大宮町＊，名古屋中区県庁＊，名古屋昭和区阿由知通＊，名古屋熱田区一番＊，名古屋中川区東春田＊，名古屋港区春田野＊，名古屋港区善進本町＊，名古屋守山区下志段味＊，名古屋守山区西新＊，名古屋緑区有松町＊，名古屋名東区名東本町＊，名古屋天白区島田＊，一宮市千秋，一宮市西五城＊，一宮市木曽川町＊，刈谷市寿町＊，豊田市小坂本町，豊田市大洞町，豊田市小坂町＊，豊田市藤岡飯野町＊，豊田市大沼町＊，豊田市坂上町＊，豊田市長興寺＊，豊田市足助町＊，豊田市小原町＊，豊田市小渡町＊，安城市和泉町＊，安城市横山町＊，西尾市一色町，西尾市西幡豆町＊，西尾市矢曾根町＊，犬山市五郎丸＊，常滑市飛香台，小牧市安田町＊，稲沢市平和町＊，稲沢市祖父江町＊，東海市加木屋町＊，大府市中央町＊，知立市弘法＊，豊山町豊場＊，大口町下小口＊，大治町馬島＊，蟹江町蟹江本町＊，飛島村竹之郷＊，阿久比町卯坂＊，東浦町緒川＊，愛西市石田町＊，愛西市江西町＊，清須市春日振形＊，清須市西枇杷島町住吉＊，清須市清洲＊，北名古屋市西之保＊，北名古屋市井瀬木＊，長久手市岩作城の内＊				
2024 年 11 月 26 日 22 時 47 分	石川県西方沖	37° 00.5' N	136° 23.8' E	7km	M6.6
2024 年 11 月 26 日 22 時 48 分	石川県西方沖	37° 00.3' N	136° 25.8' E	3km	M5.0
愛知県	震度 2：豊橋市東松山町＊，新城市作手高里松風呂＊，名古屋千種区日和町，名古屋東区筒井＊，名古屋北区萩野通＊，名古屋西区八筋町＊，名古屋中村区大宮町＊，名古屋昭和区阿由知通＊，名古屋瑞穂区塩入町＊，名古屋熱田区一番＊，名古屋中川区東春田＊，名古屋港区金城ふ頭＊，名古屋港区春田野＊，名古屋港区善進本町＊，名古屋守山区下志段味＊，名古屋守山区西新＊，名古屋天白区島田＊，一宮市千秋，一宮市西五城＊，一宮市木曽川町＊，半田市東洋町＊，春日井市鳥居松町＊，愛知津島市埋田町＊，碧南市松本町＊，刈谷市寿町＊，豊田市小坂町＊，豊田市保見町＊，豊田市長興寺＊，安城市横山町＊，西尾市矢曾根町＊，犬山市五郎丸＊，中部国際空港，常滑市飛香台，稲沢市平和町＊，稲沢市稲府町＊，稲沢市祖父江町＊，知多市緑町＊，知立市弘法＊，尾張旭市東大道町＊，岩倉市川井町＊，豊明市沓掛町＊，日進市蟹甲町＊，東郷町春木＊，扶桑町高雄＊，大治町馬島＊，蟹江町蟹江本町＊，飛島村竹之郷＊，阿久比町卯坂＊，愛知美浜町河和＊，武豊町長尾山＊，愛西市稲葉町，愛西市石田町＊，愛西市江西町＊，愛西市諏訪町＊，清須市須ヶ口＊，清須市春日振形＊，清須市西枇杷島町住吉＊，清須市清洲＊，北名古屋市西之保＊，北名古屋市井瀬木＊，弥富市神戸＊，愛知みよし市三好町＊，あま市七宝町＊，あま市木田＊，あま市甚目寺＊，長久手市岩作城の内＊				
	震度 1：豊橋市向山，豊川市赤坂町＊，豊川市小坂井町＊，豊川市一宮町＊，豊川市御津町＊，蒲郡市御幸町＊，蒲郡市水竹町＊，新城市作手清岳，新城市作手高里縄手上＊，新城市東入船＊，豊根村富山＊，田原市福江町，田原市田原町＊，田原市赤羽根町＊，名古屋中区市役所＊，名古屋中区県庁＊，名古屋緑区有松町＊，名古屋名東区名東本町＊，岡崎市若宮町，瀬戸市追分町＊，豊田市小坂本町，豊田市大洞町，豊田市大沼町＊，豊田市坂上町＊，豊田市足助町＊，豊田市稲武町＊，豊田市小原町＊，豊田市小渡町＊，安城市和泉町＊，西尾市一色町，西尾市西幡豆町＊，西尾市吉良町＊，愛知江南市赤童子町＊，小牧市安田町＊，東海市加木屋町＊，大府市中央町＊，豊山町豊場＊，大口町下小口＊，東浦町緒川＊，南知多町豊浜，幸田町菱池＊				

（注 ＊印の地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。）

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

※地震関係の資料・情報は、名古屋地方気象台のホームページ『<https://www.data.jma.go.jp/nagoya/index.html>』からも随時ご覧になれますので、あわせてご利用下さい。

※2020 年 9 月以降に発生した地震を含む図については、2020 年 8 月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」

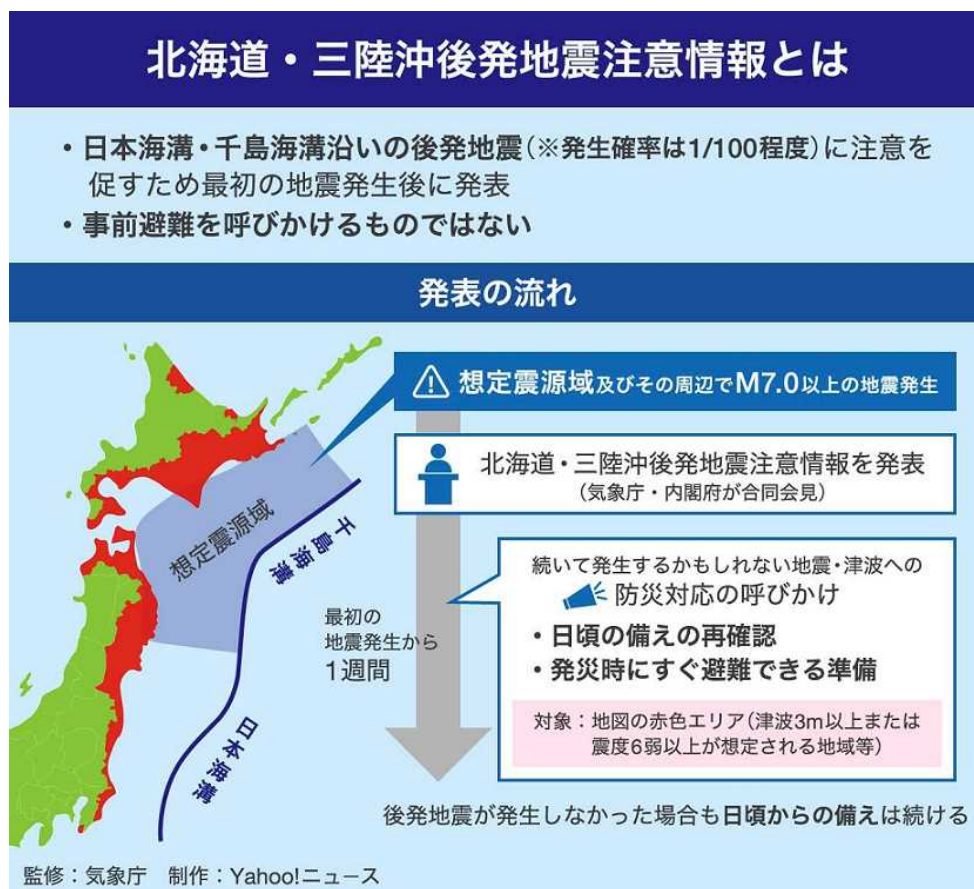
大規模地震の発生可能性が平常時より相対的に高まっている際に発表！

日本海溝・千島海溝沿いの領域では、突発的に地震が発生した場合を想定し、平時から事前の防災対策を徹底し、巨大地震に備えることが重要です。また、モーメントマグニチュード（Mw）7クラスの地震が発生した後、数日程度の短い期間において、さらに大きな Mw8 クラス以上の大規模な地震が続いて発生する事例なども確認されています。そこで実際に後発地震が発生する確率は低い（※）ものの、巨大地震が発生した際の甚大な被害を少しでも軽減するため、中央防災会議において、後発地震への注意を促す情報の発信が必要である旨が提言されました。

※過去 100 年程度の間（1904 年～2017 年）に世界中で発生した Mw7.0 以上の地震は 1477 事例であり、そのうち、地震発生後 7 日以内に Mw8 クラス以上（Mw7.8 以上）の地震が発生したのは 17 事例。

この提言を踏まえて、気象庁では令和 4 年 12 月 16 日から「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を運用しています。

情報が発表されたら、地震発生から 1 週間程度、社会経済活動を継続しつつ、日頃からの地震への備えの再確認をすることに加え、揺れを感じたり、津波警報等が発表されたりしたら、すぐに避難できる態勢を準備しましょう。



日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の詳細については以下の気象庁 HP をご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nceq/index.html>